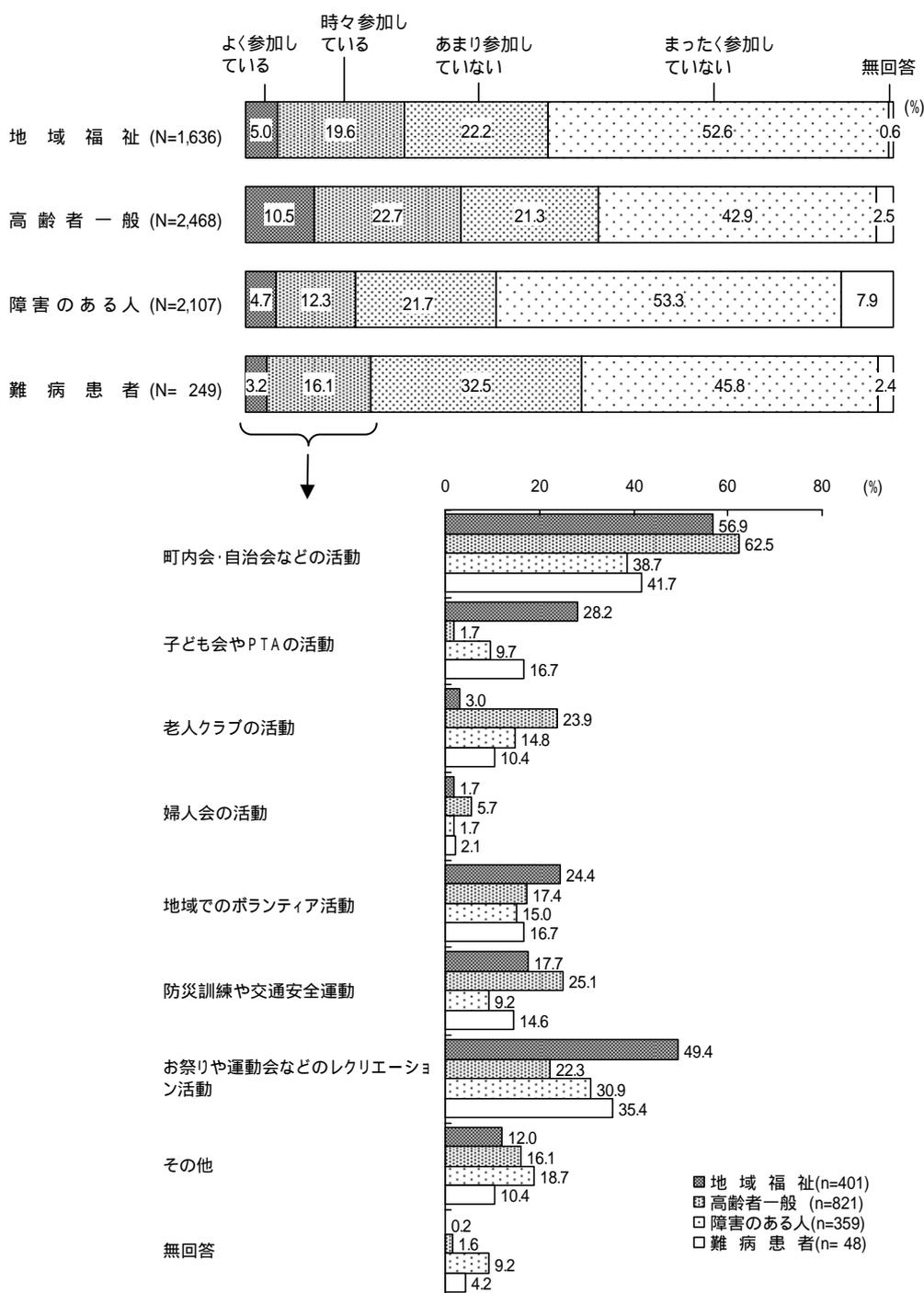


## 共通質問

## 地域活動への参加程度

地域活動やボランティア活動への参加の程度をたずね、  
参加している人には活動の種類をたずねました。

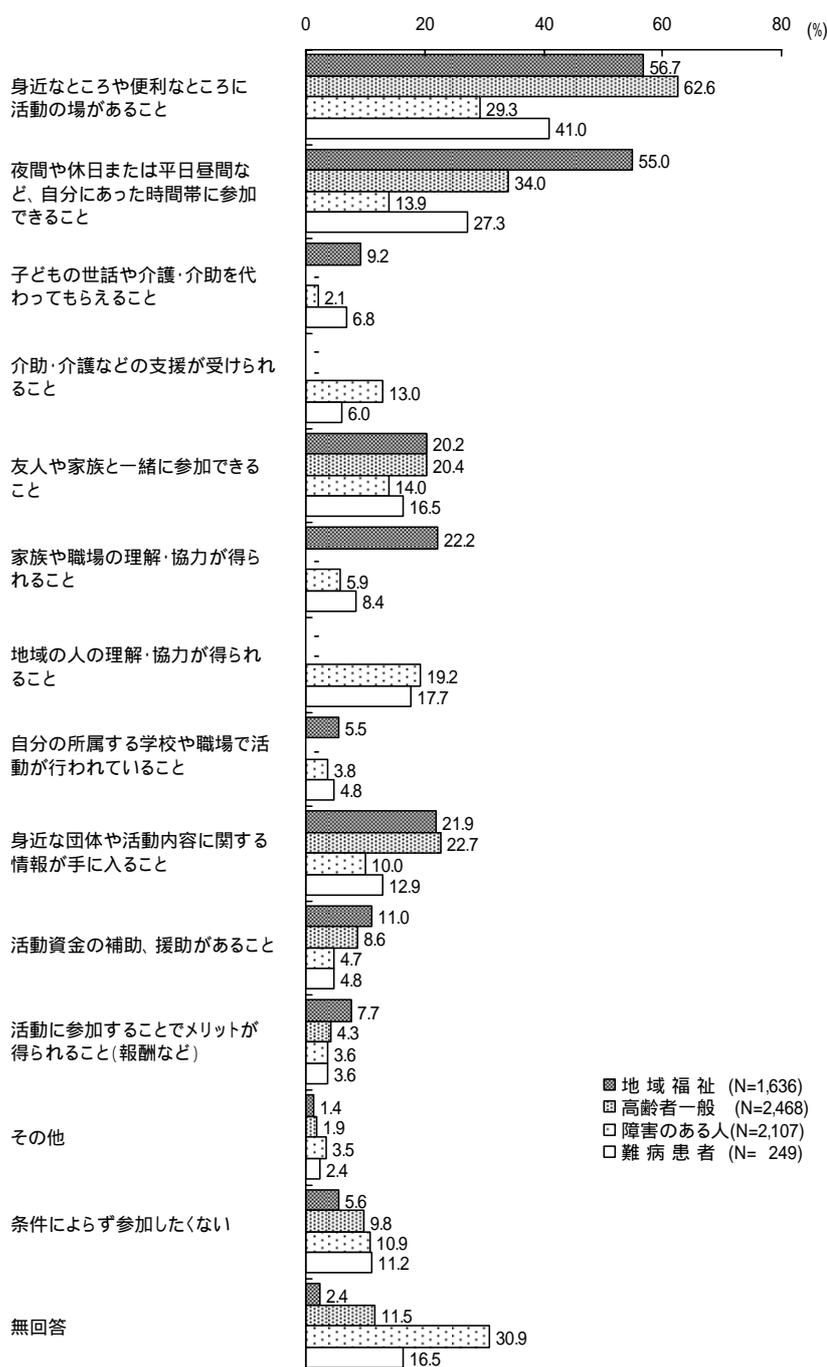
地域活動への参加程度は高齢者一般で高く、地域福祉、障害のある人、難病患者で低くなっています。障害のある人では無回答の割合も高くなっています。  
参加している活動の種類は、どの調査でも「町内会・自治会などの活動」が最も多くなっています。



## 地域活動を行う上での必要な環境・条件

お住まいの地域で活動に参加する場合に、どのような環境や条件が必要かたずねました。

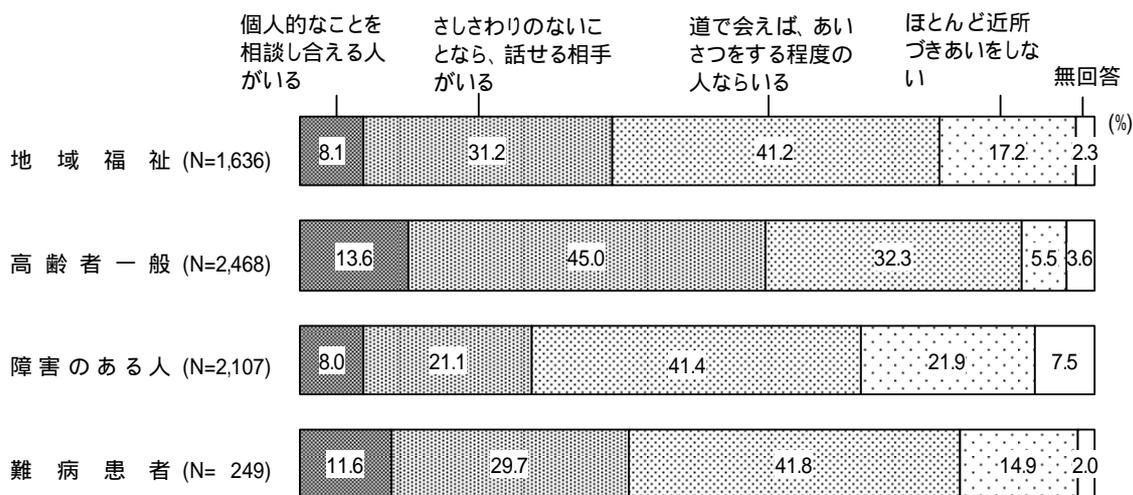
地域福祉調査では、夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること、家族や職場の理解・協力が得られることが高くなっています。高齢者一般の回答割合が地域福祉を上回っているのは、身近なところや便利なところに活動の場があることです。障害のある人の回答はどの項目でも低く、「無回答」も30.9%と高くなっています。



## 近所づきあいの程度

隣近所の人と、どの程度おつきあいをしているかたずねました。

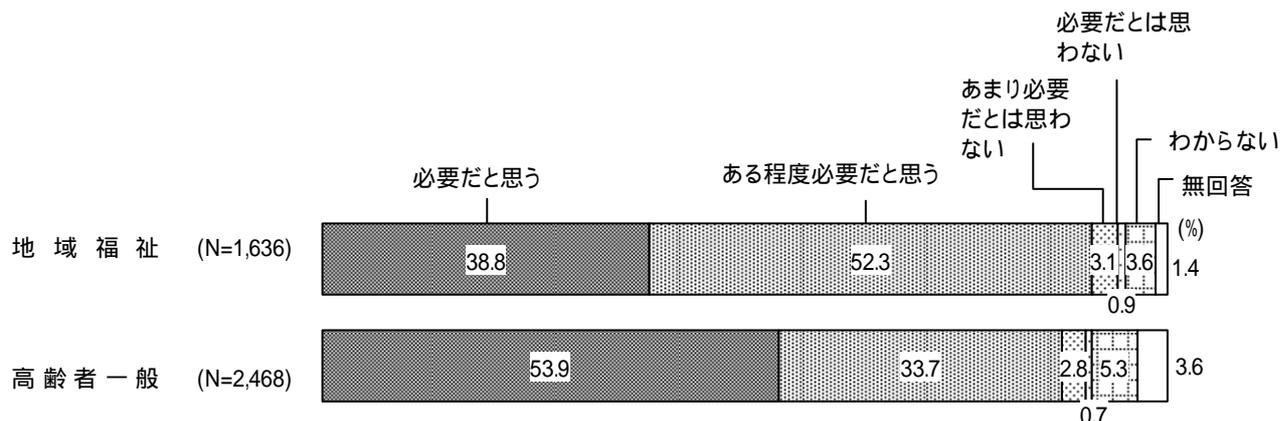
近所づきあいの程度は、高齢者一般がもっとも深く、これについて、地域福祉、障害のある人の順となっています。障害のある人では、ほとんど近所づきあいをしない人と無回答を合わせると、3割近くになります。



## 地域住民の協力関係の必要性

地域で安心して生活をしていくために、住民相互の協力関係が必要だと思うか、たずねました。

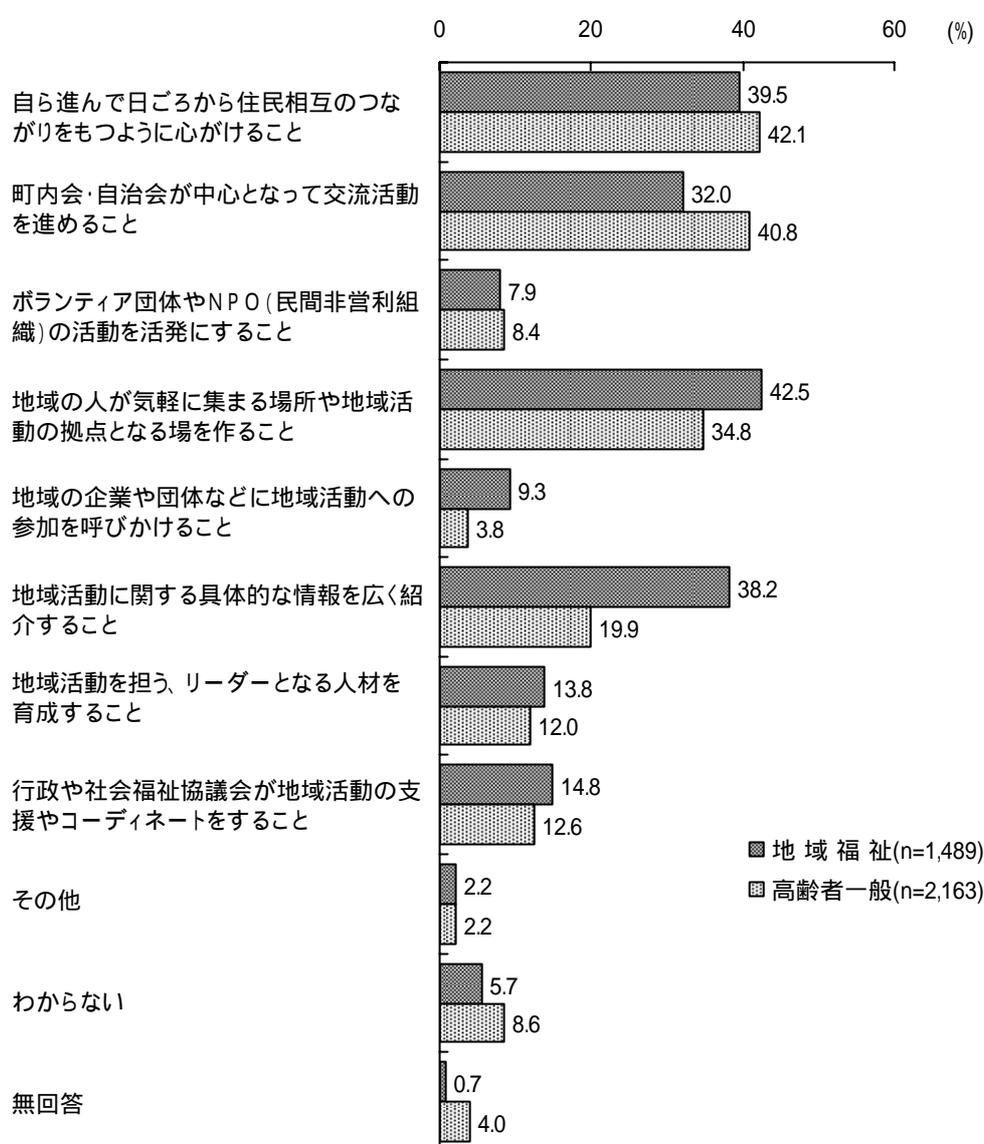
地域住民相互の協力関係の必要性については、地域福祉よりも高齢者一般のほうがより強く感じています。



## 地域住民の協力関係を築くために必要なこと

住民相互の協力関係が必要だと回答した方に、  
協力関係を築くために必要だと思うことをたずねました。

住民の協力関係を築くために必要なこととして、地域福祉調査の回答が高齢者一般を大きく上回っているのは、地域活動の場作り、地域活動の情報紹介です。これとは逆に、町内会・自治会中心の交流活動、日ごろからのつながりの重要性については高齢者一般の回答割合が地域福祉を上回っています。



## 災害時のために個人情報提供への考え方

災害時に避難を助けたり、避難状況を確認するために、市役所、消防署、警察署や町内会・自治会へ、住所・氏名・連絡先などを事前に知らせておくことへの考え方についてたずねました。

災害時のための個人情報提供については、高齢者一般、居宅サービス利用者、未利用者、障害のある人のいずれも肯定的な回答が多くなっています。知らせてもよいとする回答は高齢者一般で最も高く、居宅サービス未利用者で最も低くなっています。

